

富加町 読書サポーターズの会

対象学校名等	富加町立富加小学校	対象学年	全学年
支援活動内容	読書サポーターズによる郷土愛を育むふるさと学習の支援		

活動の願い

富加町では、平成20年度から「子どもの読書活動推進計画」を策定し、町を挙げて読書活動を推進している。読書サポーターズの会は、読書活動推進計画策定と同時に立ち上げられた、町内にある複数の読書サークルの代表者で構成されている団体である。

本との出会いをコーディネートし、生涯にわたって読書に親しむ人を育てることを願いとし、乳幼児期から大人まで幅広く読書の魅力を伝える活動を行っている。

コーディネーターの関わり方

本会の会長がコーディネーターを務めている。各サークル間の連絡調整や、学校との連携窓口となることで、組織的に活動を推進し、効果的に教育活動を支えられるように努めている。

行事や取組の前後を中心に本会を招集し、準備や打ち合わせだけでなく、振り返りを行うことで、さらに充実した活動になるようにしている。

活動の工夫や効果

岐阜県に初めて大衆向けの図書館を作った、富加町出身の木村小舟の生い立ちを通じた、ふるさと学習の実践を紹介する。

実践例1 故郷を知る総合的な学習の時間の支援（3年生）

3年生は「富加はかせになろう」をテーマに、総合的な学習の時間の学習に取り組んでいる。

本会では、木村小舟の生い立ちを題材に自作した紙芝居を使って読み聞かせをすることで、故郷を知る一助となるよう努めている。活動後には、以下のような感想が多数寄せられ、児童の成長を実感することができる。



私は今年の3月に引っ越してきたので、富加町に偉人がいるなんて知りませんでした。だけど、小舟さんのことをたくさん知ることができたので、家族やいとこ、おばあちゃん達にも話したいと思います。

実践例2 郷土愛を育む道徳資料の作成（6年生）

木村小舟の「故郷の人々に本を読んでもらいたい。」という思いに触れることができる資料を作成した。

主に高学年で、郷土愛を育む道徳の資料として活用してもらっている。低学年から学んできた郷土の偉人の生き方や価値観に触れることで、自分の生き方を振り返ったり、将来の目標をもったりするきっかけになっている。

